



# ココライン

## 運用状況のご報告

2017年4月14日

正会員，賛助会員のみなさま  
そだちの樹をご支援いただいているみなさま  
そだちの樹にかかわるすべてのみなさま



<http://sodachinoki.org/kokoline>

2015年4月にスタートしたそだちの樹の相談窓口「ココライン」は，2017年3月末日で約2年を迎えました。この間の運用状況をご報告します。

## 利用件数

2017年3月末日現在，電話・メールによる相談件数は144件，本人との面談に至ったケースは44件，ウェブサイトへのアクセス件数（ページビュー件数）は7,123件となっています。

相談件数

144件

(電話・メール)

面談件数

44件

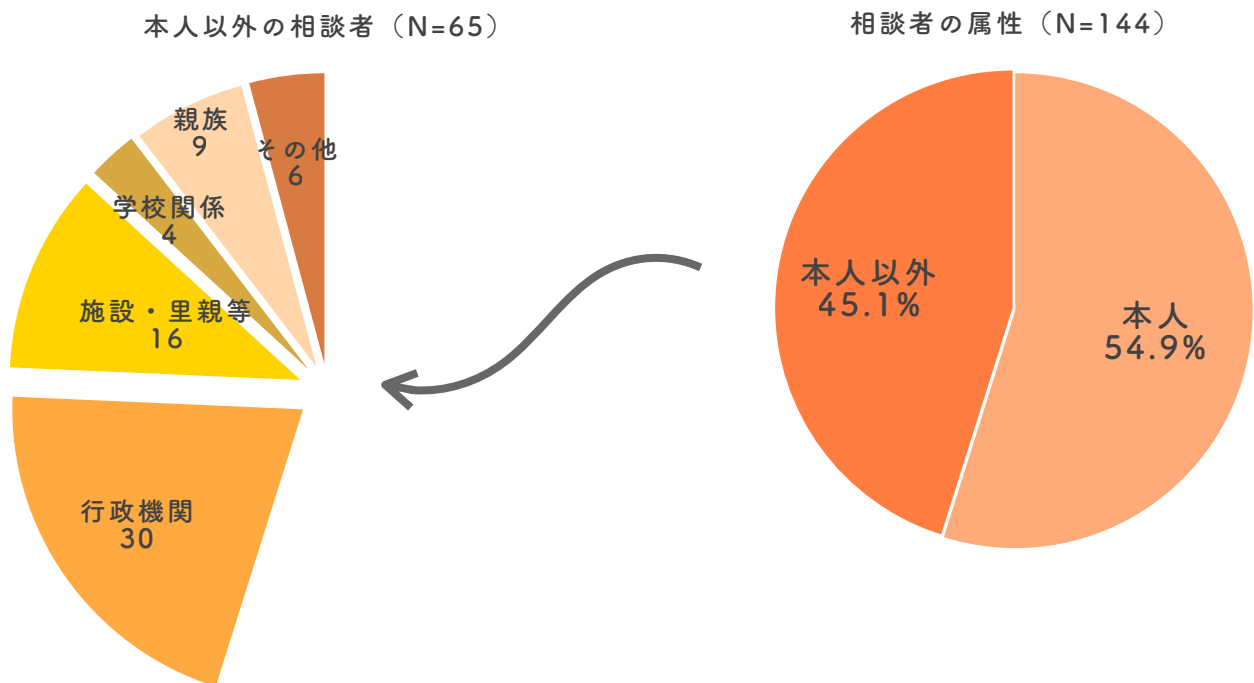
ウェブサイトの  
アクセス件数

7,123件

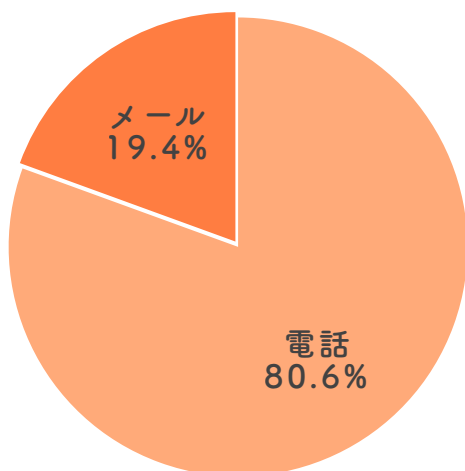
# 相談傾向

## 相談者の属性

144件の相談のうち、悩みがある本人からの相談は79件（54.9%）、本人以外の方からの相談は65件（45.1%）となっています。2016年9月末日時点では本人からの相談が64.0%、本人以外の方からの相談が36.0%でした。本人以外の方からの相談がこの半年間で大きく伸びていることが分かります。



相談方法 (N=144)



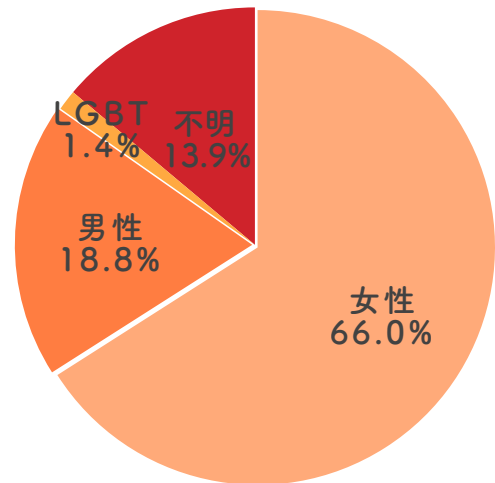
## 相談方法

相談方法は電話の割合が圧倒的に多く（80.6%）、メールは28件（19.4%）にとどまっています。メール相談から面談につながるものは少数ですが、悩みを持つ方がSOSを出しやすい相談方法として、今後も動向を見守っていきたいと考えています。LINEやtwitterなども活用しています。

当事者の性別 (N=144)

## 当事者の性別

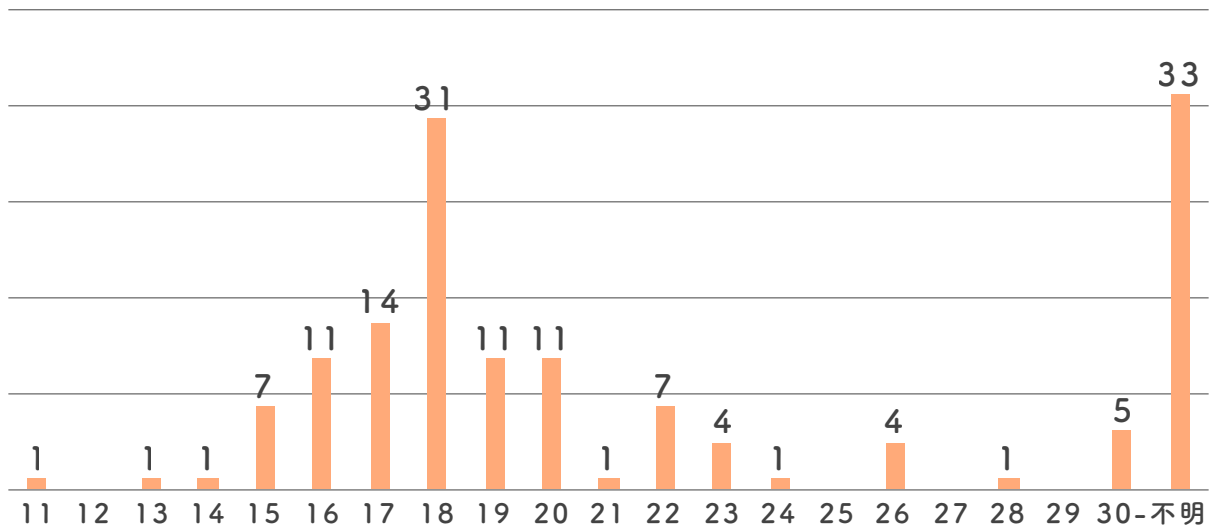
当事者の性別は女性が6割以上を占めています。  
男性の利用は割合としては少数ですが、決して軽い内容ではありません。  
LGBTに関する相談も寄せられています。



## 当事者の年齢

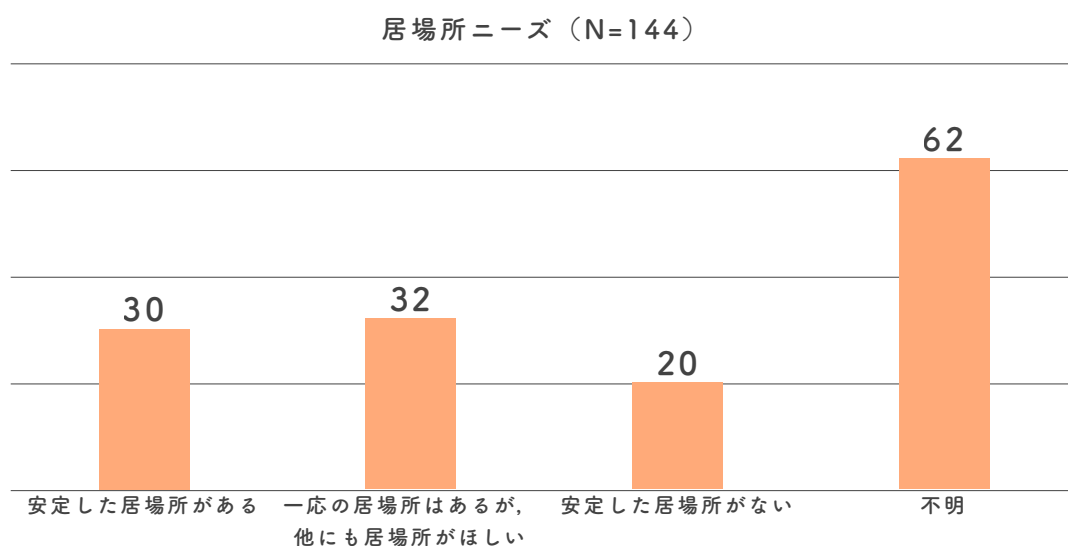
当事者の年齢分布を見ると、割合としては10代が多くなっています（年齢が確認できた当事者のうち54.2%）。中でも18歳の相談が突出していて、割合は21.5%に達しています。

当事者の年齢 (N=144)



## 居場所ニーズ

ここラインでは、居場所のない、居場所がないと感じている子ども・若者のニーズを把握するため、独自に「居場所ニーズ」という指標を定めて、相談ケースのアセスメントを行っています（相談時に把握した情報に基づいて、相談担当者の判断で分類しています）。その結果は次のとおりです。ここラインを利用する若者に一定数の居場所を求めるニーズが認められます。



## まとめ

これまでの活動を通して、ふくおかで暮らす若者たちの悩みが、少し見えてきた気がします。一方で相談者の属性に大きな変化が見られるなど、まだ全体像がつかめているとは言えない面もあります。引き続き、若者たちのニーズを見守っていきたいと思っています。これからも、ここラインへのご声援、よろしく願い申し上げます。